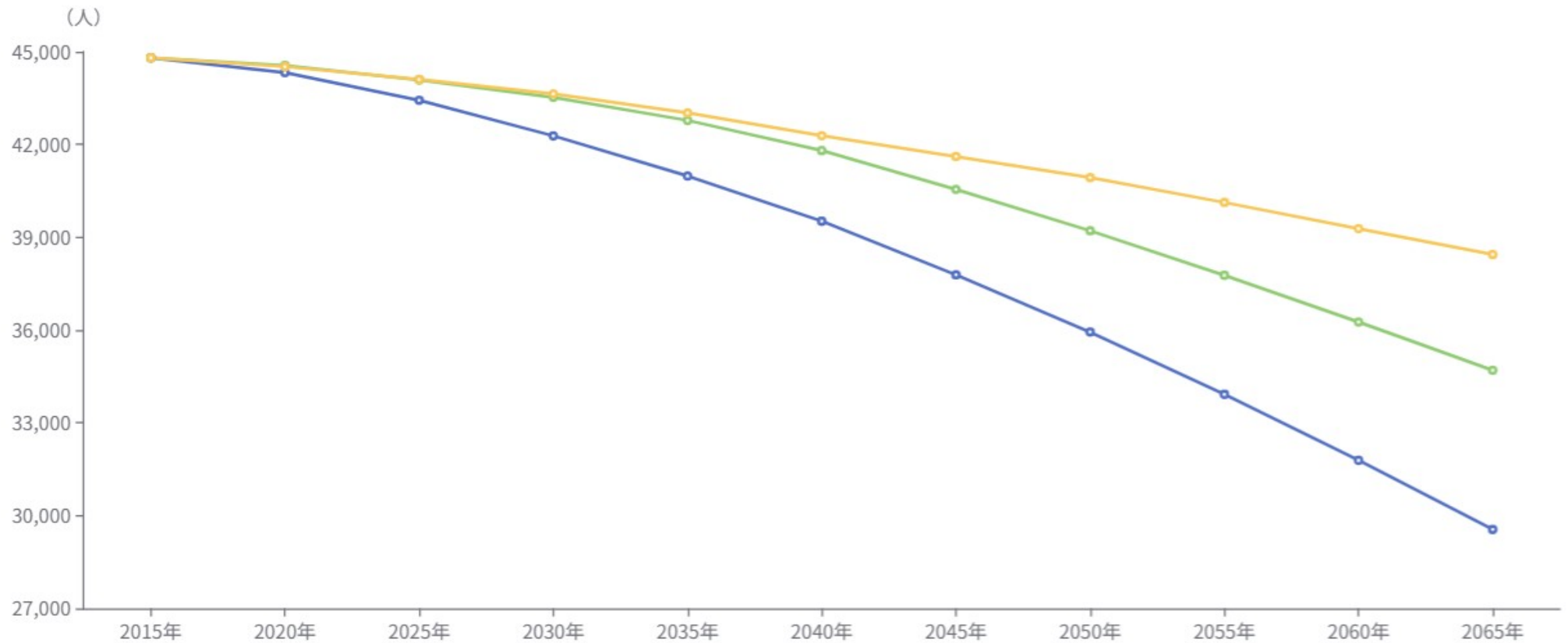


総人口推計

北海道 音更町

パターン1 シミュレーション1 シミュレーション2



【出典】

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

【注記】

パターン1：全国の移動率が今後一定程度縮小すると仮定した推計（社人研推計準拠）

シミュレーション1：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.1）まで上昇したとした場合のシミュレーション

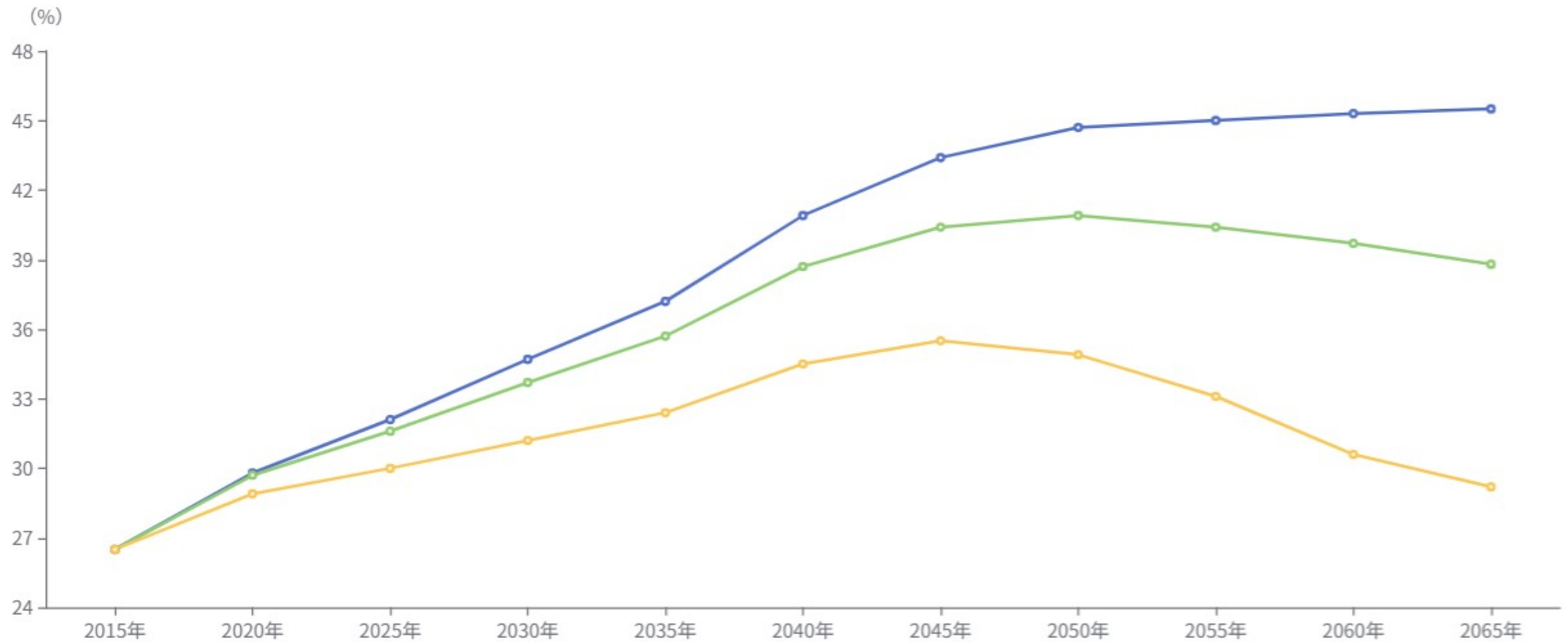
シミュレーション2：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.1）まで上昇し、かつ人口移動が均衡したとした（移動がゼロとなった）場合のシミュレーション。

【その他の留意点】+

老年人口比率推移

北海道 音更町

パターン1 シミュレーション1 シミュレーション2



【出典】

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

【注記】

パターン1：全国の移動率が今後一定程度縮小すると仮定した推計（社人研推計準拠）

シミュレーション1：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.1）まで上昇したとした場合のシミュレーション

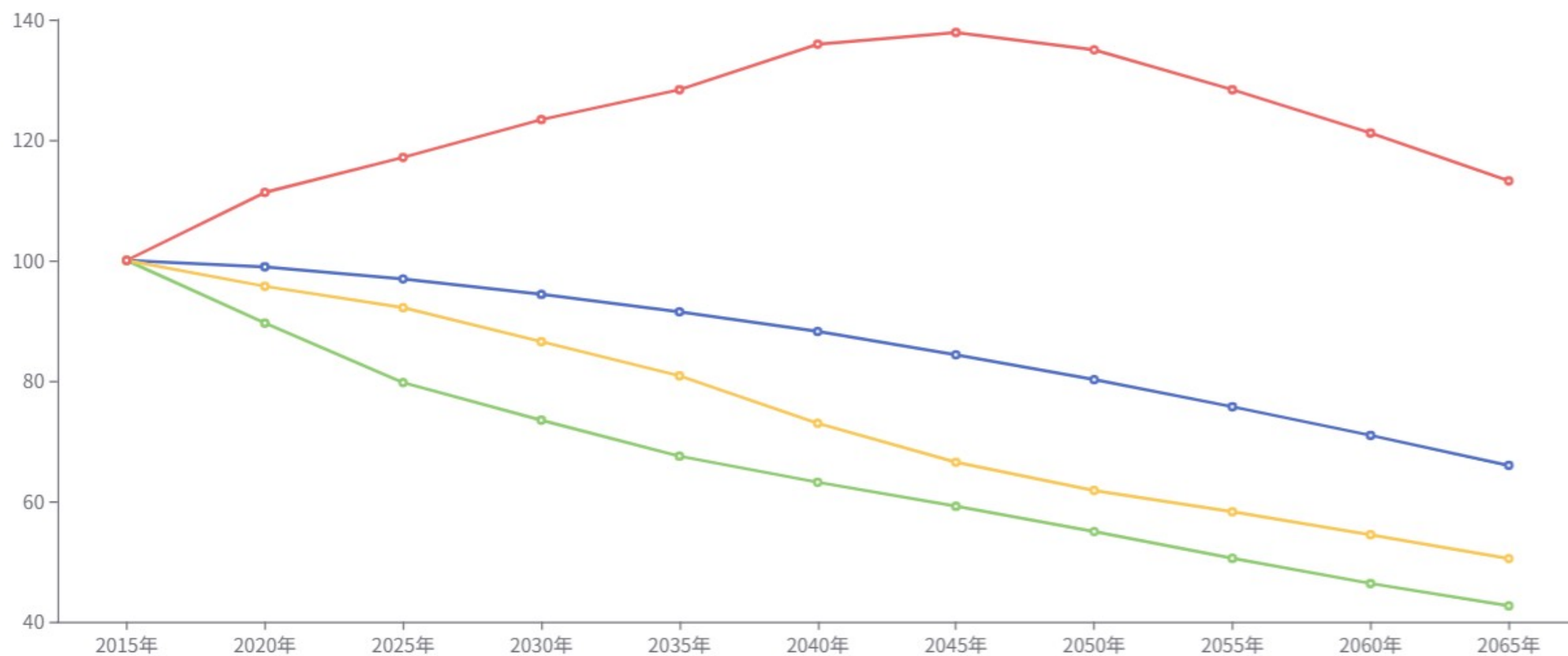
シミュレーション2：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.1）まで上昇し、かつ人口移動が均衡したとした（移動がゼロとなった）場合のシミュレーション。

【その他の留意点】+

年齢3区分別人口推移

北海道 音更町

総人口 年少人口 生産年齢人口 老年人口



【出典】

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

【注記】

2015年の人口を100とし、各年の人口を指数化している。

【その他の留意点】+

自然増減と社会増減の影響度(将来)

北海道 音更町

		自然増減の影響度(2045年)					
		1	2	3	4	5	総計
社会増減 の影響度 (2045年)	1		ニセコ町,東神楽町	札幌市手稲区,帯広市,千歳市,幕別町	札幌市,札幌市東区,札幌市白石区,札幌市西区,札幌市厚別区,恵庭市,東川町	札幌市中央区,札幌市北区,札幌市豊平区	16 (8.47%)
	2		清水町,更別村	旭川市,苫小牧市,伊達市,七飯町,音更町	札幌市南区,札幌市清田区,江別市,北広島市,鷹栖町	仁木町	13 (6.88%)
	3	大樹町	泊村,月形町,豊浦町,厚真町,新冠町,士幌町,鹿追町,中札内村,鶴居村,中標津町	北見市,滝川市,登別市,石狩市,長沼町,当麻町,美瑛町,西興部村,上士幌町,芽室町	函館市,釧路市		23 (12.17%)
	4		斜里町,小清水町,遠軽町,杜部町,新得町	室蘭市,岩見沢市,網走市,深川市,富良野市,北斗市,黒松内町,喜茂別町,奈井江町,新十津川町,比布町,安平町	小樽市,鹿部町,豊頃町		20 (10.58%)
	5	奥尻町,俱知安町,清里町	留萌市,稚内市,知内町,木古内町,八雲町,上ノ国町,厚沢部町,今金町,蘭越町,真狩村,京極町,共和町,神恵内村,積丹町,赤井川村,浦臼町,妹背牛町,沼田町,上富良野町,中富良野町,南富良野町,和寒町,中川町,増毛町,羽幌町,遠別町,天塩町,猿払村,中頓別町,豊富町,礼文町,利尻町,利尻富士町,幌延町,津別町,訓子府町,滝上町,雄武町,大空町,日高町,平取町,様似町,えりも町,新ひだか町,本別町,足寄町,陸別町,浦幌町,浜中町,標茶町,弟子屈町,別海町,標津町	夕張市,芦別市,赤平市,紋別市,士別市,名寄市,三笠市,根室市,歌志内市,新篠津村,松前町,福島町,森町,長万部町,江差町,乙部町,せたな町,島牧村,寿都町,留寿都村,岩内町,古平町,余市町,南幌町,上砂川町,由仁町,栗山町,秩父別町,雨竜町,北竜町,愛別町,上川町,剣淵町,下川町,美深町,幌加内町,苫前町,初山別村,浜頓別町,枝幸町,美幌町,置戸町,佐呂間町,湧別町,興部町,白老町,むかわ町,浦河町,広尾町,池田町,釧路町,厚岸町,白糠町,羅臼町	美瑛市,砂川市,占冠村,小平町,洞爺湖町	当別町,音威子府村	117 (61.9%)
	総計	4 (2.12%)	72 (38.1%)	85 (44.97%)	22 (11.64%)	6 (3.17%)	189 (100%)

【出典】

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

【注記】

自然増減の影響度：シミュレーション1の総人口／パターン1の総人口の数値に応じて、以下の5段階に整理。「1」＝100%未満、「2」＝100～105%、「3」＝105～110%、「4」＝110～115%、115%以上

社会増減の影響度：シミュレーション2の総人口／シミュレーション1の総人口の数値に応じて、以下の5段階に整理。「1」＝100%未満、「2」＝100～110%、「3」＝110～120%、「4」＝120～130%、130%以上。

【その他の留意点】+